

# 応用物理分野で活躍する女性達

## —第3回 バイオエレクトロニクス編—

女性研究者のキャリアパスは、ロールモデルの欠如や様々なライフステージにおける不安などのため、なかなか将来を見通すことが難しく、また相談できる研究者が近くにいないため 孤立しやすいといった様々な課題を個々の研究者が抱えています。本シンポジウムは、科学・技術研究における多様性やリーダーシップの重要性について多角的に考え、また女性研究者とのコミュニケーションの機会を提供することで、応用物理研究コミュニティーが直面する様々な障壁へのヒントとなることを願って企画するものです。

日時

2015年 3月13日(金) 9:00～12:00

会場

東海大学 湘南キャンパス (春季学術講演会 B3会場)

## プログラム

- |             |   |                             |
|-------------|---|-----------------------------|
| 9:00- 9:05  | 趣旨説明  | 高井 まどか (東大)                 |
| 9:05- 9:10  | 会長あいさつ  | 河田 聡 (応用物理学会会長/阪大)          |
| 9:10- 9:30  | 金属微粒子二次元シートによるバイオインターフェイスの高分解能蛍光観察                        | 玉田 薫 (九州大)                  |
| 9:30- 9:50  | プラズモニクチップを用いた高感度蛍光検出法のバイオイメージングとバイオセンシングへの応用              | 田和 圭子 (産総研)                 |
| 9:50-10:00  | 休 憩   |                             |
| 10:00-10:40 | 基調講演 我が国の科学技術イノベーション政策～若手・女性活躍によるイノベーション創出～               | 久間 和生 (総合科学技術・イノベーション会議 議員) |
| 10:40-11:00 | 神経細胞の機能計測とナノテクノロジー  | 河西 奈保子 (NTT)                |
| 11:00-11:20 | シリコン微細加工で創る脂質二分子膜イオンチャネルチップ                               | 平野 愛弓 (東北大)                 |
| 11:20-11:30 | 休 憩   |                             |
| 11:30-12:00 | パネル討論   |                             |
|             | パネラー：永松 愛子 (JAXA) , 南谷 英美 (東大) , 住友 弘二 (NTT) , 山田 明 (東工大) |                             |

参加費無料

お問合せ先

公益社団法人 応用物理学会  
担当：苺米 karigome@jsap.or.jp